

令和6年度

学校評価報告書



綾瀬市立綾南小学校

1 学校は、「よく学ぶ子（実際の社会や生活で生きて働く「知識及び技能」）」を育てるために、工夫や改善に取り組んでいる。

学校の取組

今年度は、発問の工夫を通して「自分の思いや考えをもてる子」を目指して校内研究に取り組みました。自分の思いや考えをもって言語活動が行われることによって、児童一人ひとりが意欲的に取り組める授業を目指しています。また、全国学力・学習状況調査で本校の課題に挙げられている基礎計算、漢字の力をつけるため、各学年で朝のモジュールの時間を活用し、基礎基本の学習を繰り返し行い、学力向上に向けて取り組みました。

児童 設問 「進んで学習に取り組んだ。」



保護者 設問 「お子さんは、進んで学習に取り組んでいる。」



教職員 設問 「学校は、「よく学ぶ子（実際の社会や生活で生きて働く「知識及び技能」）」を育てるために、工夫や改善に取り組んでいる。」



今後に向けて

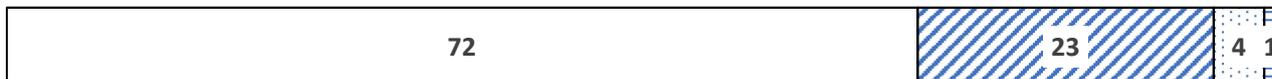
児童の9割が「そう思う」「ややそう思う」と回答しており、本校の児童が学習に前向きに取り組んでいることが分かります。教職員が指導の工夫や改善を組織として継続的に取り組んできたためと考えられます。今後も児童のつまずきに目を向けた授業改善を行い、児童や保護者が学習意欲の向上を実感できる授業づくりを引き続き目指していきます。

2 児童は、学校行事やクラブ活動、委員会活動、係活動に積極的に参加している。

学校の取組

運動会やクラブ活動、委員会活動、学級の係活動では、児童の話合い活動を重視したり、児童が自ら役割分担することで、主体的に行動できるよう支援したりして活性化を図っています。異学年交流活動の「にこにこタイム」では、どの学年の児童も楽しく交流できるよう、教職員の支援の下に高学年が中心となって運営しています。

児童 設問 「運動会、遠足、にこにこタイムなどの活動に進んで取り組んだ。」



保護者 設問 「お子さんは、運動会、遠足、にこにこタイムなどの活動に楽しく参加している。」



今後に向けて

各行事や特別活動に積極的に取り組んだり、楽しく参加したりすることができたことがうかがえますが、主体的な活動になっていたかどうかを検証することは今後の課題だと考えます。行事の目的を児童に十分理解させたうえで、どんな活動をすればよいかを考えさせ、児童の思いが反映される活動を目指していきたいと思えます。

3 学校は、「よく考える子（未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」）」を育てる指導を積極的に行っている。

学校の取組

教科指導、道徳教育、読書指導など教育活動全般を通して自ら考える力、良好な人間関係の構築を実現します。また、異学年交流活動「にこにこタイム」や学校行事、特別活動を通して、児童一人ひとりが互いに認め合う温かい学校づくりを目指しています。

児童 設問 「あいさつをよくし、友だちと仲良く協力できた。」



保護者 設問 「お子さんは、あいさつをよくし、友だちと仲良くしている。」



教職員 設問 「学校は、「よく考える子（未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」）」を育てる指導を積極的に行っている。」



今後に向けて

各教科指導の中で、自分の考えをもつ時間を設定し、考えたことを伝える活動を重視してきましたが、今後も引き続き取り組んでいきたいと思えます。にこにこタイムの活動も含めて、友達に対して思いやりの気持ちをもった行動をすることで仲良く生活できることを、実体験から学んでいけるよう指導していきたいと思えます。

4 児童は、友人や先生との学校生活に満足している。

学校の取組

人のかかわりを大切に、互いを認め、高めあう人間関係を築き、一人ひとりが大切にされ、認められる学校づくりや学ぶ楽しさを感じられる学級づくりに努めてきました。異学年交流活動を通して、児童同士の良好な関係をさらに形成できるようにするとともに、普段の学習の中で「授業のユニバーサルデザイン」を取り入れながら、すすんで学べるよう指導にあたっています。

児童 設問 「学校生活は楽しい。」



今後に向けて

一人ひとりの児童の個性を認めながら、もっている個性が生かされる学校づくりをしていく必要があると思っています。教職員は、日々の授業研究を怠らず、児童にとって楽しい授業を提供していくとともに、小さな悩みにも耳を傾け、一緒に解決していこうとする気持ちをもって取り組んでいきます。児童と教職員がともに成長を喜べるような学校を目指していきたいと思えます。

5 学校は、いじめの早期発見・再発防止のための取組を行っている。

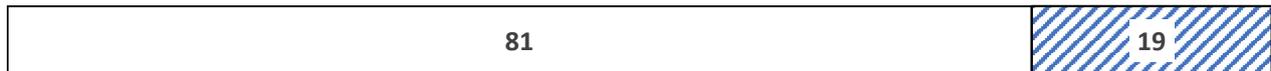
学校の取組

児童の悩みや不安を早期発見、早期対応するために、毎月スクールアンケートを実施しており、その結果をもとに支援や指導にあたっています。また、職員会議や児童指導・支援会議では、配慮の必要な児童の情報共有を図り、望ましい生活習慣や行動規範についての共通理解に努めています。

保護者 設問 「学校は、いじめの早期発見・再発防止のための取組を行っている。」



教職員 設問 「学校は、いじめの早期発見・再発防止に努めている。」



今後に向けて

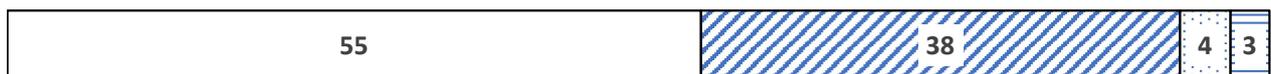
日々の児童の見守りが基本ですが、毎月実施しているスクールアンケートに書かれていることから、いじめの兆しがないかを分析し、必要な聞き取り、適切な対応をしていきたいと思えます。いじめゼロ宣言の取り組みなどを通じて、いじめの起こらない学校の雰囲気も作っていきます。

6 学校は、「高めあう子（学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等）」を育てる指導に積極的に取り組んでいる。

学校の取組

児童同士の関わりの場を多く設定しました。休み時間の外遊びだけでなく、縦割り活動を実施し、異学年との交流を図りながら遊ぶ活動を通して、思いやりをもち、人と関わる機会を設定しました。また、係活動や委員会活動・クラブ活動では、集団の一員としての自覚をもち、児童が主体的に計画を立て、実施するなど自ら行動できるような支援を行っています。

児童 設問 「健康や安全に気をつけて、楽しく学習できた。」



保護者 設問 「お子さんは、健康や安全に気をつけて、学習や生活ができています。」



教職員 設問 「学校は、「高めあう子（学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等）」を育てる指導に積極的に取り組んでいる。」



今後に向けて

約9割の児童が、健康や安全に気をつけて、楽しく学習ができています。授業時間等は、児童も意識を高くもち学習に向かうことができていると思えます。しかし、校地内での過ごし方を見ていると、危険につながる行動も見られることから、今後も学校全体で課題意識をもちながら、共通理解を図って児童がより安全に過ごせるような声かけを行っています。

7 学校は、児童の安全のための指導や施設の点検・整備に取り組んでいる。

学校の取組

児童が安全に学校生活を送れるように、毎月施設や設備の安全点検、整備を行っています。異常を発見した際には、教育委員会や校務作業員と連携しながら、児童が安全に学校生活を送れるように対応しています。また、PTAや地域の方々の見守りパトロールなど、地域と連携した児童の安全確保にも努めています。避難訓練では、年間を通して様々な場面や時間帯などを想定し、避難の仕方が身に付くよう工夫しています。

教職員 設問 「学校は、児童の安全のための指導を行っている。」

81	19
----	----

教職員 設問 「学校は、児童の安全のために施設の点検・整備に取り組んでいる。」

81	19
----	----

今後に向けて

児童の安全のため、緊急時の避難の仕方については、今後も様々な場面を想定して指導していきます。特に、いつ災害が起こるか分からない現在の状況に対応できるような訓練、職員研修の充実を目指します。不審者対応については、教職員向け研修を再検討していきます。職員全員が、しっかりとした不審者対応ができるよう研修方法なども見直していきます。

8 学校は、児童に応じた支援の工夫をしている。

学校の取組

児童一人ひとりの実態に応じた支援を行うため、教育相談コーディネーターを中心にチームによる支援体制を整えています。また、国際教室担当による指導や学習支援者、スクールカウンセラーやサポートルームアシスタントの配置を受け、個別指導、チームティーチング、カウンセリング等に取り組みました。日頃から学校全体で児童の情報を共有し、児童の様子に目を配り、ニーズに応じた支援ができるように努めています。

教職員 設問 「学校は、一人ひとりの児童に応じた、きめ細かな指導を工夫しながら行っている。」

81	19
----	----

今後に向けて

教職員、保護者、児童本人のニーズに応じてケース会議を開催したり、面談を行ったりしながら、チームによる組織的な対応を行ってきました。今後も、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、外部機関との連携を図り、全職員で児童情報を共有しながら適切な支援を行うことができるように努めていきます。

9 学校は、校長を中心とした運営組織となっている。

学校の取組

総括教諭を中心とした4グループに分かれ、縦と横の連携を図りながら学校運営上の様々な業務や課題に取り組んでいます。グランドデザインをもとに、年度初めに各グループで学校教育目標を具現化するための取組を話し合い、活動計画として戦略マップにまとめました。そして学期ごとに振り返りを行い、全教職員が組織の一員としての自覚や責任をもって活動を進めています。

教職員 設問 「学校は、校長を中心とした運営組織となっている。」

86	10	4
----	----	---

今後に向けて

グランドデザインを常に念頭に置いて学校運営を進めることができました。今後も校長を中心とした運営組織の中、PDCAサイクルを実践して、よりよい学校づくりに努めていきます。また学校のみならず、学校・保護者・地域が協力する視点を持ち、綾南小学校の目指す児童像の実現に向けて取り組んでいきます。

10 学校は、教職員の力量を高めるための取組に力を入れている。

学校の取組

日頃から学年で教材研究を行い、職員同士協力して授業力向上に努めています。校内研究の公開授業に向けて、学年やブロックで話し合いや事前授業を行い、教職員全体で研究協議を行っています。視点を定めて授業について意見交換したり、講師の講義を聞いたりすることで、授業力向上に取り組んでいます。また、近年の教育課題についてお互いの強みを生かした職員研修や教育技術に関する経験を共有する場を設定するなど、教職員としての知識、見識を高め、指導力の向上に日々努めています。

教職員 設問 「学校は、教職員の力量を高めるために校内研究の取組に力を入れている。」

76	24
----	----

教職員 設問 「学校は、教職員の力量を高めるために研修に取り組んでいる。」

67	29	4
----	----	---

今後に向けて

今後も校内研究を通して、教師間の指導力向上、共通理解を図るとともに、日々の授業に生かすことができるようにしていきたいと思えます。また、教育に関する最新の動向や教職員のニーズをもとに、児童の指導に反映されるよう研究・研修計画を立案していきます。実施形態についても講義形式だけでなく座談会形式や実技講習など、教職員が意欲をもって学び続け、力量を高められるような内容となるよう工夫や改善に努めます。

1 1 学校は、児童の実態を把握し、よりよい児童の成長のための工夫をしている。

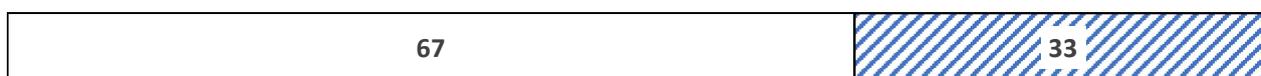
学校の取組

毎月の職員会議や年間6回実施している児童指導・支援会議で、児童の情報交換の場を設けています。担任、級外、養護教諭等それぞれの立場から児童の様子についてきめ細かく情報を報告し、共通理解を図って児童の見守り、指導を行う体制づくりに努めています。また、スクールカウンセラーとの面談や特別支援学校の巡回相談などを利用し、より効果的な支援を行えるように努めています。

保護者 設問 「学校は、一人ひとりの良さを大切にした指導を行っている。」



教職員 設問 「学校は、児童の実態を把握し、よりよい児童の成長に向けて工夫した指導を行っている。」



今後に向けて

児童についての情報共有を綿密に行うことで、一人ひとりの児童を学校全体で見守っていくことができると考えています。今後も継続していくことで、児童の実態把握に努めていきたいと思ひます。児童一人ひとりのよりよい成長に向けて、適切な支援をしていきます。

1 2 学校は、保護者などに適切な情報を提供し、連携を図る取組を行っている。

学校の取組

保護者に向けては、お便り、授業参観・懇談会、個別面談、PTAの各種会議等により、学校の教育活動や児童の様子を具体的に伝え、理解が得られるようにしています。今年度は学校だよりに行事予定と時程を全学年分一括して載せることで情報の一元化を図り、見やすくしました。また「学校へ行こう週間」や土曜授業参観での「親子ふれあい美化作業」では、多くの保護者の方に来校いただき、学校の様子を見ていただきました。

保護者 設問 「学校の様子を、授業参観や学校・学年・学級だより等で知ることができている。」



教職員 設問 「学校は、学校・学年・学級だよりなどで保護者に情報を提供し、連携を図る取組を行っている。」



今後に向けて

来年度も授業参観・懇談会、個別面談、「学校へ行こう週間」、土曜授業参観を行うとともに、学校だよりへの学習活動の掲載などを通して、保護者や地域に向けて情報を発信していきます。また地域学校協働活動を更に推進すべく、様々な学習活動のみならず、委員会活動やクラブ活動などでも、保護者や地域と連携が図れるよう努めていきます。

※グラフ凡例は、以下の通りです。合わせてご覧ください。

	そう思う
	ややそう思う
	あまりそう思わない
	そう思わない
	分からない

※アンケート実施期間

11月25日～12月24日